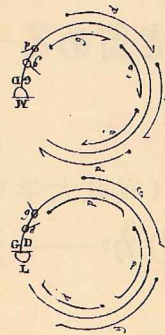
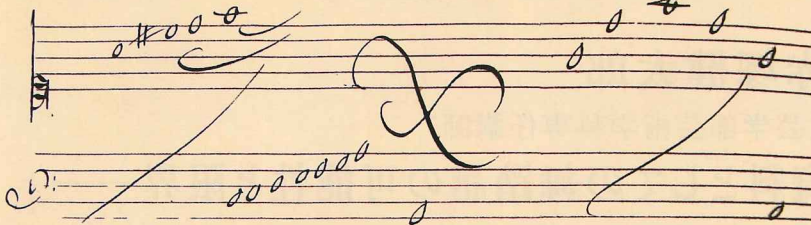


レクチャーコンサート

# バロック時代の音楽と舞踏 ～記譜を通して見る華麗なる時空間

書かれていない“何か”がある  
——「記譜」の謎に迫る！



日時：平成27年10月18日（日）午後2時開演（午後1時30分開場）

場所：京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

（地下鉄「二条城前」2番出口すぐ、市バス「堀川御池」下車）

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押油小路町238-1

TEL 075-255-9023

入場料：無料、要事前申し込み（先着300名）

主催：京都市立芸術大学 芸術資源研究センター



**事前申し込み方法**：メールで受け付けております。

1. ①入場をご希望される方の氏名 ②連絡先ご住所と電話番号 を明記の上、  
arc@kcua.ac.jp へメールを送信して下さい。

2. 確認次第、整理番号を記載したメールを返信します。

3. 当日窓口にて、整理番号が記載されたメールのプリントアウト、あるいはメール画面を提示して下さい。

※事前申し込みをされてから1週間経っても整理番号メールが届かない場合は、お手数ですが当事務局までお問い合わせ下さい。

問い合わせ：京都市立芸術大学 芸術資源研究センター事務局

〒610-1197京都市西京区大枝沓掛町13-6

TEL: 075-334-2231 FAX: 075-333-8533 メール: arc@kcua.ac.jp



挨拶

**柿沼敏江**

(京都市立芸術大学音楽学部教授、芸術資源研究センター副所長)

導入

**高野裕子**

(芸術資源研究センター研究員)

「バロック時代の音楽と舞踏」

第1部：レクチャー

**三島郁**

(京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師)

「『音楽』と『演奏』を書き留める——17～18世紀の手稿譜を手がかりに——」

**赤塚健太郎**

(成城大学文芸学部芸術学科専任講師)

「舞踏譜は何を語るのか——資料としての舞踏譜の可能性と限界——」

第2部：バロック・ダンスと演奏

～17・18世紀のフランス・バロックオペラより～

リュリ：《アルミード》より〈パッサカーユ〉

ラモー：《優雅なインドの国々》より〈野蛮人〉 ほか

**樋口裕子**(バロック・ダンス)

**永野伶実**(バロック・フルート)、**大内山薫**(バロック・ヴァイオリン)

**頼田麗**(ヴィオール)、**三橋桜子**(チェンバロ)

